

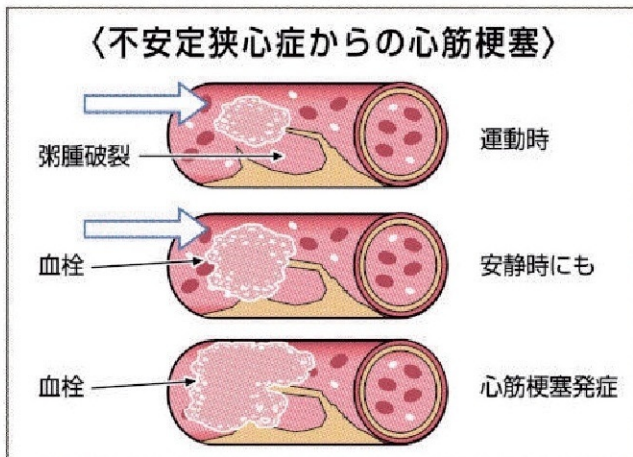


循環器内科医

上野勝己氏

平気だった駅の階段が一休みしないと上れなくなった。駐車場から職場に行く、わずから100円で胸が苦しくなる。そのうちに安静時にも、突然の胸の圧迫感や息苦しさを覚えるようになる。父親が心筋梗塞だったことを思い出し、病院に行かなくてはと思いつつも、症状は2〜3分で消え去ってしまうのでストレスのせいだと納得してしまう。痛みは5分以内に治まっていたのに持続時間が長くなり、冷や汗を伴うほどの強い痛み。やっぱり病院へと思ったその夜、突然、持続する激しい痛みに襲われる。これが急性心筋梗塞です。

急性心筋梗塞の前兆は



狭心症状出たら受診

関（WHO）の調査では、3分の2は病院到着前に死亡していました。医療の進歩によって病院到着後は95%以上の患者が助かるので、できるだけ早く病院に来るべきです。しかし、できるならば発症前に治療するのがベ

ストです。実は助かった患者の半分から3分の2で、前兆となる何らかの狭心症状があったと報告されています。狭心症は、安定狭心症と不安定狭心症に分類されます。安定狭心症は症状が固定しているのですが、不安定狭心症は、2週間以内に心筋梗塞を発症する可能性があります。徐々にコレステロールを取り込んで膨れ上がり、ある日突然

心臓が不安定なものでした。狭心症は冠動脈に詰まり（狭窄）が起き、血液の流れが悪くなるために起こります。この目詰まりには「粥状動脈硬化」と「線維性動脈硬化」の二つがあります。粥状動脈硬化とは、血管の内側にコレステロールや中性脂肪が蓄積してできる軟らかいこぶです。徐々にコレステロールを取り込んで膨れ上がり、ある日突然

然、熟したザクロの実が破裂するように表面の膜が破れ、破裂します。このこぶが破裂すると、その部分に血栓ができて急速に血管が狭くなります。完全に血管が詰まれば心筋梗塞を起します。この状態が不安定狭心症なのです。一方、線維性動脈硬化は繊維や石灰を中心とした硬い成分でできており、破裂することはありません。運動時の狭心症を起しますが症状は長

肩や背中の痛み、違和感にも注意